

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次



重文 「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 ☎491-0858



ロータリー:変化をもたらす

URL:<http://rc138.org>

E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp

2018年3月29日 第3327回例会

会 長 青山 佳裕 副 幹 事 山口 元彦
幹 事 関戸 徹 副 会 長 船橋 正員
会長エレクト 榊原 讓 会報委員長 渡邊 肇

プログラム

クラブ戦略例会

磯部 茂君 猪子誠兒君
松田暁昌君 青山佳裕君

ロータリーソング「四つのテスト」

第3326回例会の記録
2018年3月15日(木)

会長挨拶

青山佳裕

こんにちは！今日はお客様に、大先輩である酒井孝さんに卓話に来ていただきました。後ほど、「一宮むかしむかし」としてお話をいただきます。よろしくお祈いします。

私事ですが、先日美味しい旬の蛤をいただきました。酒蒸し、煮蛤は絶品でした。すまし汁もいいですね。

<蛤の話題提供>

ひな祭りや結婚式に欠かせないものです。貝の殻のかみ合わせが、対のもの以外は合わないことから夫婦和合の象徴として慶事の食材となりました。今が旬ですが、冬も美味しいです。

簡単な料理レシピも聞いてきました。「まず、鍋に蛤、昆布、水を入れて中火で殻が開いたらアクをすくい、酒・醤油・塩をほんの少々。菜花は塩を加えたお湯でサッと茹で、冷水で色止めして椀に。そこへ先ほどの蛤のすまし汁を注ぐ」出来上がり。ナカナカ上品な一品になりました。

今日は料理教室をご披露。ありがとうございました。

残りわずかですが、挨拶の話題提供には苦労しています。

次回の予定

卓話 藤山寿樹氏
(食品産業新報社)
テーマ「お菓子づくりの歴史」

委員会報告

出席報告

現在の会員数
本日のビジター
本日の出席数
他クラブ出席数
本日の出席率
前々回の出席率

委員

伊藤幸一
106名
0名
53名
18名
66.98%
95.78%

ニコボックス

☆ 船橋正員君

今日、酒井孝様に一宮の歴史について卓話をいただく喜びで。

☆ 佐々木久直君

本日は私のロータリーの大先輩の酒井孝さんの卓話を聞ける幸せで！！

☆ 辰守弘君

熱田神宮が事務局の新道友好会でフィンランドに行ってきました。オーロラは見られなかったのですが、バルト海を船で航行しました。ヘルシンキの港は凍っていましたが、割って進みました。日本大使館にも表敬訪問してきました。多少時差ボケしています。7時間の時差があります。

☆ 高木道久君

先週は卓話の機会を与您いただき有難うございました。皆様方のお気に召しましたでしょうか。平成(?)32年4月1日までは未だ間がありますので、お声掛けいただきましたら、続編や続々編も喜んで担当させていただきます。

☆ 青山佳裕君

3月10日株式会社青山創業120年式典、物故者供養法要を無事終えられました喜びで。名鉄犬山ホテル間瀬道男さんには大変お世話になりました。ありがとうございます。

☆ 青山佳裕君 関戸徹君

本日の卓話で、昔のお仲間、酒井孝さんのお話「一宮むかし むかし」を聞ける喜びで！！

***** プログラム *****

卓話

酒井 孝氏

テーマ「一宮むかし むかし」



今日は一宮のむかしの姿についてお話してみたいと思います。

まず初めにお配りしましたレジュメに記載してあります蘭奢待の事についてお話しさせていただきます。聖武天皇の時に中国から渡来したとされる天下一の香木、蘭奢待はその難しい字の中にある意味が隠されています。蘭の字には東大寺の東の意味が、奢の字には大の意味が、待の字には寺の意味が隠されており、続けて読むと東大寺となるのです。東大寺正倉院の秘宝として門外不出とされておりますが、歴史の過程で2名の方がその一部を切り取ったとされています。その一人が足利義政でありもう一人が織田信長です。織田信長が切り取ったのは7~8センチ程とされていますがその一部が一宮城主関長安に下賜されそれが真清田神社に寄贈され神社の秘宝として保存されていることになっております。

話を元に戻します

氷河期が終わり温暖化の進んだ1万年程前にはこの地区一宮の大半は水面下の汽水域でありました。従って縄文時代の初期には人々は猿投・小牧・犬山の入鹿池の麓に粗末な竪穴住居を建て木の実の採集、狩猟をしながら家族単位の生活をしていました。縄文時代の中期になりますと木曾川、長良川などからの土砂の堆積が進み、出来上がった台地に人が移り住むようになりました。この当時の遺跡が大口町 北替地遺跡で出土物からハマグリ・カキ殻や縄文土器・石鏃が出土しています。一宮最古の遺跡として千秋の佐野

遺跡があります。この遺跡からは石鏃や石錘、土器などが発掘されていますが、瀬戸内海系と東方系様式の土器が出てくることからこの地方は東西文化の接点であったとみられます。一宮最大の遺跡、馬見塚遺跡は縄文後期から弥生時代にかけての遺跡でここからの出土物、カメ・棺・壺の中から炭化した米粒が発見されて弥生時代に稲作があった事が証明されました。二子遺跡では家を作っていたと考えられる木の柱が全て南に向かってなぎ倒されるようにして発見されており、またその後には再建された形跡がない事から村全体が洪水で破壊され消滅したものと思われています。萩原はその名称は剥原であったらしく、また荒神、築込などの名称からはこの地区において何度も洪水にみまわれその都度再建し神に祈っていた姿がみえてきます。いずれにしても尾張地区の土地は東高西低、犬山あたりが標高20メートルであるのに対し一宮は一番高い所で8メートルほどです。その後農耕生活が始まると次第に西の方にも人が住み着き、農耕、治水をする目的での共同作業をするようになり「村」が出来るとそれが文明を飛躍的に進化させます。

文化(culture)は耕す(cultivate)を語源とするとされていますがこの事を意味しています。

古墳時代にはこの地区にも多くの古墳が造られています。浅井古墳群とされているのがこれで50余基、今伊勢古墳群には17~18基あるとされていますが残念ながら宅地に造成されています。

10代崇神天皇は伊勢に神宮を造営、大和民族の祖である大照大神を祀ることで人心の統一を図り、11代垂仁天皇は倭姫命を斎宮として大神の御霊を奉じ神宮に渡御します。その途中、尾張の中島宮に三ヶ月逗留したと伝承されています。後にこの地方は伊勢の御領田になり今伊勢・本神田・磐戸等と呼ばれるようになります。

例会変更案内 (12:00~12:30 受付)

クラブ名	例会日	例会場	受付
犬山	4月3日(火)	名鉄犬山ホテル	有
一宮中央	4月4日(水)	一宮商工会議所ビル (17:30-18:00)	有
一宮北	4月13日(金)	一宮商工会議所ビル	有
尾西	4月16日(月)	尾西信用金庫本店	有